

町政懇談会

町民の声を行政に

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした令和8年度町政懇談会を7月27日から30日の4日間、全4会場で開催しました。

懇談会には、町民延べ32名、町からは高橋町長、新谷副町長、西埜教育長、各課長職などが出席して、町政に対する要望や質疑応答などを実施しましたので、その概要をお知らせします。



【町長挨拶】

町長 本日は夜分にお疲れのところお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、町行政の運営に皆さま方のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

この町政懇談会は、町民の皆さまと近い距離でさまざまなご意見やご

要望を伺い、一つでも多く予算や町の行政執行に反映していくことを目的に、私の就任後に再開したものです。

私の任期も3年を迎え、来年度の予算編成が任期中最後となります。これから予算を編成していくにあたり、町民の皆さまからいただく意見やご要望をしっかりと伺い、今後の行政執行に反映していきたいと考えています。

本日は、例年同様に担当課長も出席していますので、町政について何かお気づきの点や聞いてみたいことがありますしたら、忌憚なくご発言いただければと思います。

このあと、町行政報告と教育行政報告をさせていただきます。皆さまからさまざまなご意見を拝聴し、実りある町政懇談会にしていきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

【町行政報告】

令和8年度予算について

一般会計67億7千9百万円で、前年度比4億7千8百万円の減、特別会計5会計と企業会計3会計とを合わせた総額は106億3千52万円で、前年度比3億5千2百11万5千円の減となっています。令和8年度の歳出予算の編成にあたりましては、令和9年度までを計画期間とする「第6期雄武町総合計画後期実施計画」を基本としつつ、今後の人口構造や社会情勢の変化なども見据え、必要な行政経費に優先順位をつけて予算を編成し、現在執行している段階です。

令和8年度は、老朽化が進む公共施設やインフラの長寿命化対策、本町の基幹産業である農業・林業・水産業の基盤整備や各種支援対策、高齢者世帯や子育て世帯への支援対策、持続可能な地域公共交通の確保のためのコミュニティバスの運行などに、引き続き予算を計上するとともに、年度途中におきまして、国の経済対策や物価高騰対策などは、補正予算で対応したいと考えています。

魚田地区

本地域の関係予算については、元稲府線舗装整備工事4千5百万円、音稲府地域住民センター配管改修工

事9百90万円など計上しているほか、音稲府地域住民センターの和室にエアコンを設置する工事を実施しているところ です。

沢木地区

本地域の関係予算については、新沢木海岸線外道路灯改修工事3千4百万円、沢木小学校敷地内支障木伐採工事2百万円など計上しているほか、沢木住民センターの和室にエアコンを設置する工事を実施しているところ です。

幌内地区

本地域の関係予算につきましては、幌内草地幹線法面復旧工事3百20万円など計上しているほか、幌内歴史と生活の家の和室にエアコンを設置する工事を実施しているところ です。

懸案事項における要望活動について

町の懸案事項については、西紋別5市町村による西紋別地区総合開発期成会やオホーツク管内市町村によるオホーツク圏活性化期成会により、北海道庁や道議会議員、北海道開発局、中央省庁や道内選出国会議員に対し要望活動を実施して、各種事業の促進を図っているところ です。

○国道238号の上沢木から川尻間の防雪柵設置などの防雪対策事業の促進

○主要道道美深雄武線の線形改良などの道路整備事業の促進

○雄武川河口および元沢木地区の侵食に対する整備の促進

○美深・下川雄武線の携帯電話不感地帯の解消などの緊急通報体制の整備

○道営事業などによる営農用水施設や草地整備などの農業生産基盤整備事業の促進

○国営緊急農地再編整備事業（雄武丘陵地区）の促進

○元稲府、雄武、沢木漁港施設などの水産基盤整備事業の促進

常勤医師の配置について

地域医療の関係については、国保病院において、本年1月から磯部副院長が着任し、常勤医師3名体制の確保を図ったところです。磯部副院長は、循環器内科の専門医であるとともに、総合内科専門医、救急科専門医でもあり、本町の地域医療に大きくご貢献いただけるものと期待しています。秀毛院長、大野副院長との3名の常勤体制により、在宅診療などをはじめ、健康診断の拡充など、地域の医療サービスの幅が、さらに広がるものと期待を寄せるところで す。

医療連携協定（北新病院）について

本年3月に、札幌市の「社会医療法人 朋仁会 整形外科 北新病院」と医療連携協定の締結に至ったところ

であり、令和6年6月に協定を締結した「医療法人 春林会 華岡青洲記念病院」に続き、2件目の医療連携協定の締結となったところです。本協定によって、国保病院で専門的な検査や高度な治療が必要と判断された患者さまについては、速やかに北新病院へご紹介し、腰痛・膝関節痛などの整形外科疾患に対し、四肢・体幹の専門医によるMRI検査や診断、高度な治療・手術を受けていただけるようになったところです。

今後においても、国保病院が町民の命や健康を守る砦として、その役割を果たしていくよう、全力で努めていきます。

郵便局における広域紋別病院オンライン診療の開始について

郵便局における広域紋別病院オンライン診療については、本年1月に北見幌内郵便局において、道内初となる郵便局と連携してのオンライン診療が開始され、その後、6月に沢木郵便局においてもオンライン診療が開始されたところです。内容としては、医師によるオンライン診療と、調剤薬局の薬剤師による服薬指導に加え、現場には医師と連携して診療を支援する専門の診療看護師が立ち会う体制を整備しており、オンライン診療でありながら、視診、触診などが可能となり、対面診療に近い質の高い医療が確保されています。

防災担当専任職員（防災監）の配置について

こうした医療機関と郵便局による先進的な連携は、地域医療を支える力強い取り組みであり、町民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続ける大きな支えとなるものと確信しています。町としても、引き続き関係機関と情報共有を図りながら、地域医療の充実に努めていきます。

防災の関係については、災害時や平時における防災体制の強化のため、自衛隊に対し、防災担当専任職員を募集していましたが、本年、3月に自衛隊を退職した元自衛官、河ヶ谷 隆を本年4月1日付けで採用し、地域防災室長、防災監として配置したところです。

河ヶ谷地域防災室長は、内閣府から地域防災マネージャーとして証明を受けているとともに、これまで自衛官として得た危機管理能力、専門的知識や経験を活かし、大雨や地震による津波などの災害時の迅速な対応をはじめ、防災計画の見直し、高度な防災訓練の実施、地域住民や各種団体への防災教育や啓発活動など、本町の防災力の向上に貢献していただけるものと期待しているところです。

防災行政無線の多重化による情報伝達について

防災行政無線の関係については、かねてから屋内では放送が聞きづらいうという課題が指摘されていまして、これを解消するため、スマートフォンやタブレットなどの端末で、どこにいても防災行政無線の放送内容を受信して確認することができ、アプリを利用した仕組みを導入するため、現在、10月末までを工期として業者に発注しています。完成後においては、早期に供用を開始し、災害時の迅速かつ確実な情報発信に努めていきます。

ふれあい町づくり事業（自治会行事助成事業）の拡充について

自治会関係については、「雄武町ふれあい町づくり応援事業補助金交付要綱」を制定し、冬季除雪事業、ごみ拾いや花壇整備などの環境整備事業、自主防災推進事業の3つのメニューを設けて、自治会が会員を対象として実施する活動に対して支援してきていますが、昨年度の町政懇談会の中で、自治会行事の参加者の減少や自治会員の減少による自治会会計の厳しさから、企業に支援していただくなどして行事を実施しているという話を伺い、本年度から「ふれあい町づくり応援事業」を拡充して、新たに「自治会行事助成事業」を創設し、自治会行事での焼き床や